

2009年度

科目名	文化心理学		
担当教員	林 進		
配当	人社2	コード	53630
開期	後期	講時	金曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	人間の心理と文化の比較研究		
目的と概要	人間の心と文化の相互関係を考える。とくにフロイトおよびフロイト以後の心理学が現代社会・文化に与えた影響を、あるいは逆に、現代社会・文化が心理学に与えた影響を検討しながら、現代人と現代文化の問題を考察する。映画ビデオ等も適宜活用しながら解説する。		
成績評価法	学期末のレポートと平常点で評価する。		
テキスト	プリント配布		
参考書	授業の中で紹介する		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
第1回 オリエンテーション——ヒステリー文化とナルシズム文化と鬱の文化 第2回 ヒステリー文化の中のナルシズム(1)——精神分析と三島由紀夫『音楽』 第3回 ヒステリー文化の中のナルシズム(2)——ナルキッソス神話と『ヴェニスに死す』 第4回 ナルシズムの芸術——フロイトとレオナルド・ダ・ヴィンチ 第5回 タブー侵犯の心理学——日本神話(イザナキ)とギリシア神話(オルペウス) 第6回 精神分析とシュルリアリズム——フロイトとダリとカフカ 第7回 精神分析と表現主義——ムンク『叫び』とエゴン・シーレ 第8回 人間の心と近代文明——夏目漱石『こころ』 第9回 悲劇と精神分析——ソフォクレス『オイディプス王』とエディプスコンプレクス 第10回 映画と精神分析(1)——ヒッチコック『サイコ』と多重人格(1) 第11回 映画と精神分析(2)——ヒッチコック『サイコ』と多重人格(2) 第12回 ボーダーライン(1)——『危険な情事』(1) 第13回 ボーダーライン(2)——『危険な情事』(2) 第14回 政治と言語と心理学——ヒトラーの権力への意志あるいは大衆操作の言語と映像 第15回 総括			